

報告回	# 2政治センター幹事会 (1月度)	# 3政治センター幹事会 (5月度)	# 4政治センター幹事会 (8月度)
-----	-----------------------	-----------------------	-----------------------

田原市	所属議員	赤尾昌昭 平松昭徳
------------	------	-----------

全トヨタ労連 29期(後)統一テーマ 経過報告シート 西久保グループ

産業目線

【活動項目】	④産業道路環境		【活動テーマ】	田原臨海工業地域周辺道路の渋滞解消
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 浜松三ケ日・豊橋道路の早期実現（ルート案1＝西側ルート：田原市要望案の実現） 市道下畑波瀬線の早期開通 国道259号渋滞解消 			
前回まで 活動状況	<ul style="list-style-type: none"> 「令和3年度市政運営要望書」会派要望として提出。 ～イ）R259号（老津～豊島）早期整備 ロ）浜松三ケ日・豊橋道路の早期実現 ハ）市内幹線道路整備促進 担当部局との市内幹線道路整備懇談会 			
今回 具体的活動	<p>○「会派代表質問」で浜松三ケ日・豊橋道路の取り組み、国道259号の取り組みについて、物流の効率化や渋滞解消について質問。</p> <p>【主な回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> （仮称）渥美半島道路は、浜松三ケ日・豊橋道路（仮称）と連携して半島先端までを結ぶ構想であり、将来に向けた最重要課題として、今後も国や愛知県に対する要望活動など強力に推進する。 国道259号、豊橋市との市境付近で渋滞や速度低下の頻繁な発生は重大な問題と捉えている。国道259号は、現在、県が豊橋市の植田BP（国道259号BP、豊橋植田町～老津町の間）の4車線化工事を進めている。今後、本市に及ぶ区間への4車線化の延伸や強靱化等の実現に向け、引き続き要望活動に取り組んで行く。 			
今回の進捗 【○】	<p>◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり</p> <p>○予算委員会において「市道下畑波瀬線」の取り組みについて質問。 ※令和2年度で第1工区完了。第2工区1.4kmの計画を質問</p> <p>【主な回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に測量を完了予定 令和4年度用地取得を進める。現在350m・は取得。 令和3年度予算＝11,037千円（測量業務 他） 			
今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> 浜松三ケ日・豊橋道路について、早期整備実現に向けて関係各所への働きかけを継続する。 国道を含めた県管理道路、市内幹線道について一般質問や予算委員会等で状況の確認と継続した要望活動を実施する。 			

【図や活動の様子が分かる写真など】

4月3日新聞報道。浜松三ケ日・豊橋道路の取組に伴い、更に同道路の延伸である「渥美半島道路」が構想路線に認定。田原市内産業の物流改善に大いに期待ができる。



下畑波瀬線は市内から臨海地区緑が浜3号交差点を結ぶ市道。市内からの主な通勤経路として利用されているが、道幅が狭く危険な箇所が点在。平成20年に計画。リーマンショックで大幅に整備が遅れたが令和2年度で第1工区が完了。第2工区整備の早期実現に期待が持たれる。



令和2年12月の工事の様子。
第1工区最終工事



令和3年3月
第1工区完了共用開始

報告回	#2政治センター幹事会 (1月度)	#3政治センター幹事会 (5月度)	#4政治センター幹事会 (8月度)
-----	----------------------	----------------------	----------------------

田原市	所属議員	赤尾昌昭 平松昭徳
------------	------	-----------

全トヨタ労連 29期(後)統一テーマ 経過報告シート 西久保グループ
組合員目線

【活動項目】 ④防災	【活動テーマ】 南海トラフ地震に備えた防災活動
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 津波避難困難地区の津波避難施設の早期実現 安全な避難路・避難経路の確保 コロナ禍による避難所の運営等の見直しを進め避難所運営の確立
前回まで活動状況	<p>・29期後半期からの新たな取り組みだが、会派として市政運営要望書、委員会等の場では、「防災対策の充実」を図るため、高潮及び津波防災地域づくりの推進、防災・減災地域づくりの推進を掲げ、課題の指摘や様々な要望等を実施してきたが、まだまだ、多くの課題が残されている状況である。</p>
<p>今回 具体的活動</p> <p>今回の進捗 【○】</p> <p>◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり</p>	<p>○避難困難地区の津波避難施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中山地区で津波避難施設（5か所）の整備の進捗状況 本年度は津波避難施設の実施設設計を4か所、内、早期設計完了が見込めるもの2か所の整備を進める。整備については、工事の施行内容の追加、部材の仕様等の確認作業に時間を要したため遅れが生じ、令和3年度から津波避難施設2か所の整備が始まり、5か所の津波避難施設が完成すれば2,034人の避難が可能になる。（小中山地区人口：約1,960人） <p>○安全な避難路・避難経路の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波災害警戒区域における避難体制の整備の一環として、対象区域内の市民を対象にライフジャケット（救命胴衣）を有償で配布（2か年で実施） 現在、津波等発生時、避難対象区域の自治会では、「地区別の地震・津波避難マップ」が作成され展開されているが、避難路には狭隘道路や老朽化した家屋や耐震化していない建築物等があり、地震発生時に建物の倒壊や倒木等により通行できないおそれがあるため、各自治会と協力し経路見直しを含めた整備や対策等を引き続き要望を進める。 <p>○コロナ禍による避難所の運営等の見直しを進め、避難所運営の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 「避難所における新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」が作成され市民への展開が始まった。 避難所における段ボール間仕切り・プライベートテント、消毒液等の感染症防止資器材の備蓄・分散配備を充実し、自主防災会と連携し、避難所の開設訓練などを実施していく。 <p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p>   <p>[避難施設の建設現場]</p>   <p>[ライフジャケット] [避難所]</p>   <p>[避難所開設訓練] [在宅避難?]</p>
今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> 新たな事業や避難困難地区の津波避難施設の建設等について随時確認をおこない、事業進捗の把握を進め、課題等があった場合は対応案の確認や提言を随時進める。

(参考) 田原市 テーマ登録背景

(1)産業目線 産業目線①～④項目から選択

田原市取り組み項目	④産業道路環境
田原市取り組みテーマ	田原臨海工業地域周辺道路の渋滞解消
選定理由・背景・思い	組織内議員の具体的取り組み内容
<p>田原市臨海工業地域での朝夕の慢性的な渋滞で事故の誘発や部品納入便の遅れなどの要因となっている。また、組合員からは快適な道路整備の要望が強い。渋滞の主な要因は豊橋明海地区の渋滞が起因して田原地区まで渋滞が続いているため、明海地区の渋滞回避策とともに豊橋・田原市境の道路整備急務となっている。現在浜松三ヶ日・豊橋道路のルート選定に入っており、豊橋方面での結節点が明海地区となる公算が高く、結節による交差点改良等の道路整備が加速することになる。さらに国道23号バイパスの4車線化の延長を促すことで豊橋・田原間の流れがスムーズになり田原地域までの渋滞解消に期待ができる。</p> <p>また、組合員より国道259号の豊橋・田原市境の渋滞解消のための整備を望む声が多い。さらに田原臨海工業地域周辺道路も道幅狭く通勤時の交通安全の観点からも整備を急ぐ要望が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広域幹線道路の早期整備に向け、各種団体や市と連携した要望活動の実施。 ・市内幹線道路の整備促進。(通勤経路の整備・産業道路の迂回路機能の整備)

(2)組合員目線 組合員目線①～⑥項目から選択

田原市取り組み項目	④防災
田原市取り組みテーマ	東南海トラフ地震に備えた防災活動
選定理由・背景・思い	組織内議員の具体的取り組み内容
<ul style="list-style-type: none"> ・田原市は半島であり、太平洋、伊勢湾、三河湾と三方を海に囲まれており、地震発生時の津波による被害が懸念されている地域である。南海トラフ地震が発生した場合、揺れや液状化等による橋の落橋・沈降及び避難路の損傷、津波による浸水、さらに家屋の崩壊や水道・ガス・電気・通信などライフラインが止まることが危惧され、市民生活に甚大な影響がでることが想定されている。また、田原市には、海拔が低い地域が多く、津波による被害を受けやすく、特に伊良湖地区の堀切、小中山には、集落の周辺に高台等がない平地のため、津波の襲来による被害のおそれがある。 ・津波による被害を最小限にするためにも、津波避難施設の整備、堤防や橋などの強靱化、避難経路の更なる整備、防災マップの整備、コロナ禍による避難所の運営等を見直し整備を進め、地震・津波から命を守るまちづくりが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防や橋などの強靱化推進の要望活動の実施。 ・市民が安全に避難できる避難経路への見直し・整備促進。 ・コロナ禍による避難所数や避難所運営の整備促進。